

センバツ甲子園出場決定

令和2年3月に開催されます第92回選抜高等学校野球大会（センバツ甲子園）に硬式野球部OB（平成5年卒業E科）の木村 保（きむら たもつ）さんが、21世紀枠にて、福島県立磐城高等学校の監督として出場することが決定しました。応援よろしくをお願いします

経歴紹介

木村監督の経歴や実績を裏面でご紹介させていただきます。

- ☆東京電機大学では、1年時から捕手として活躍し、3年春季リーグでは3番打者として3部リーグで首位打者となり、リーグ優勝、2部昇格の原動力となりました。
- ☆高校時代は磐城高等学校の野球部として進学校でありながら、野球漬けの毎日をごした。このときに「野球部の指導者になる」と誓い、大学では教職課程を取得し、地元福島県の教員となる。
- ☆福島県では、2011年に前任校の県立須賀川高等学校で夏の選手権福島大会の決勝へ進出しましたが、甲子園常連校の聖光学院に4-0の完敗。初の甲子園出場は果たせなかった。
- ☆その後、母校磐城高校へ異動し、6年前には春季県大会で連勝中の聖光学院を下し、東北大会へ進出した。
- ☆磐城高校では、自主性を重んじ、どうしたら勝てるか、どう投げるか、どう打つべきかを研究させる環境を作り、将来のリーダーシップを身に付けさせる指導をしている。
- ☆台風19号でいわき市が浸水被害に遭うなか、秋季東北大会で2勝をあげ8強入りを果たした。東北大会の初戦の後、台風19号の被害に。学校周辺も河川の氾濫で大きな被害を受けた。その中、臨んだ2回戦では逆転勝利。大会後は、土が大量に流出したグラウンドを整備し、サッカー部とラグビー部に提供した。被災家屋の片付けなどボランティア活動を実施した。
- ☆地域随一の進学校は甲子園に春2回、夏7回出場した。1971年夏の甲子園では県勢最高の準優勝を果たした。春の甲子園は45年間出場がない。
- ☆部員は、選手19人と女子マネジャー1人。
- ☆近くの小学校の学童で週1回程度、ティーボール・ドッジボール・鬼ごっこなどの地域普及活動を実施している。